

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

丹波市長 林 時彦

| | |
|-------------------|-------------------------|
| 市町村名 (市町村コード) | 丹波市 (28223) |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 青垣町田井縄 (田井縄) |
| 協議の結果を取りまとめた年月日 | 令和 7年 12月 25日 (第 1回) |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

田井縄地区は集落戸数が79戸あり、農会戸数は73戸ありますが耕作者は12名しかおりません、田畑と森林が多くみられる自然豊かな地域ですが、耕作者の高齢化や担い手不足が深刻化し将来的に農業が継続できない状況となっています。また、自然豊かな環境がゆえに鳥獣被害が多いのも特徴で被害防止対策も課題となっています。

(2) 地域における農業の将来の在り方

| |
|---|
| 【該当項目にチェック】 |
| <input type="checkbox"/> ①当地区は水稻を主に、農地の集積・集約化を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ②当地区は水稻を主に、特産の丹波大納言小豆、黒大豆等を拡大し、農地の集積・集約化を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ③地区内外の認定農業者・集落営農組織等に農地の集積・集約化を進める。 <input type="checkbox"/> ④新規就農者を積極的に受け入れる体制作りを進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。 <input type="checkbox"/> ⑥施設、果樹等の高収益作物の導入を進める。 <input type="checkbox"/> ⑦農業を担う者が耕作しやすくするために、集落や地権者が畦畔の草刈りや水管理などを行う仕組みを構築する。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧農地の効率的かつ総合的な利用を図るため貸借相談等を行う部署を設ける。 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨多面的機能が維持できる農地管理を行う。(放棄田発生防止) <input type="checkbox"/> ⑩その他() |

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

| | |
|----------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積 | 26.8 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積 | 26.8 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | — ha |

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

| |
|--|
| 【該当項目にチェック】 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ①農振農用地区域内の農地およびその周辺の農地等を農業上の利用が行われる区域とする。 <input type="checkbox"/> ②その他(地区内の耕作地が適切に管理出来るよう考える。) |

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

